



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月6日

上場会社名 宮越商事株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 6766 URL <http://www.miyakoshi-corp.com>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)宮越邦正
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)板倉啓太 TEL 03(5493)8111
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,300	△29.4	32	△51.0	7	—	△25	—
22年3月期第1四半期	4,673	△35.3	66	△66.6	△72	—	△95	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△1	66	—	—
22年3月期第1四半期	△6	12	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	22,453	8,490	36.0	519 96
22年3月期	20,073	8,487	40.4	522 62

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 8,077百万円 22年3月期 8,118百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
23年3月期	— —				
23年3月期(予想)		0 00	— —	0 00	0 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	7,400	△17.2	160	22.8	130	—	80	—	5 15	
通期	16,800	△0.4	350	71.5	270	—	200	—	12 87	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期第1Q	15,542,176株	22年3月期	15,542,176株
② 期末自己株式数	7,028株	22年3月期	6,978株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	15,535,172株	22年3月期第1Q	15,535,413株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、欧州における金融不安と円高の進行による市場の混乱により先行き不透明感が一層強まり、雇用環境、消費意欲の停滞感は払拭されず、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは主力の電気機器の販売事業では、高利益率に特化した経営戦略と新たな販売ルートの構築を進め、物資等、医薬品及び医療器具等の販売事業のうち金属加工部門では経営基盤の強化のため昨年来進めてきた事業の再構築が予定どおり終了し業績が好転しております。また、不動産部門では賃貸物件が100%近い入居率で推移し、省エネルギー・環境保護をテーマに掲げた再開発事業は、開発条件等について深セン市政府と協議を行っております。一方、国内の有機食品事業では、本年4月にイタリア大使館において(株)ジェーシープランニングと共催した「イタリアンフェア」は、当社グループの食品業界における知名度アップにつながり、大手の量販店、スーパーへの販路を拡大しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、3,300百万円（前年同四半期比29.4%減）となり、利益面では営業利益32百万円、経常利益7百万円、四半期純損失25百万円となりました。

事業の種類別販売状況は次のとおりです。

(単位:百万円)

事業別	部門別	当第1四半期	前第1四半期	前年同期比
電気機器等の製造販売事業	音響機器	195	148	31.8
	映像機器	2,821	4,261	△33.8
物資等、医薬品及び 医療器具等の販売事業	金属加工・医薬等	164	147	11.0
不動産開発及び賃貸管理等事業		97	105	△8.3
有機食品事業		21	10	113.0
合計		3,300	4,673	△29.4

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態においては、ヨーロッパ市場における在庫調整などの影響により売掛金の回収が一部長期化したことにより、総資産は224億円となり前期末に比べ23億円増加いたしました。負債合計は139億円となり前期末に比べ23億円増加いたしましたが、主な原因は、仕入債務の決済を一部繰り延べた事によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについて正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計基準等の改正に伴う変更

連結財務諸表に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)を適用し、連結子会社の資産及び負債の評価方法を部分時価評価法から全面時価評価法に変更しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	226	302
売掛金	6,893	4,047
たな卸資産	77	77
その他	1,960	1,727
貸倒引当金	△927	△915
流動資産合計	8,231	5,240
固定資産		
有形固定資産	317	342
無形固定資産		
のれん	1,433	1,469
その他	1,506	1,374
無形固定資産合計	2,940	2,843
投資その他の資産		
長期貸付金	15,424	16,025
その他	92	174
貸倒引当金	△4,553	△4,553
投資その他の資産合計	10,963	11,647
固定資産合計	14,221	14,833
資産合計	22,453	20,073
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,738	2,309
短期借入金	506	500
未払法人税等	75	82
引当金	4	7
その他	325	384
流動負債合計	5,649	3,285
固定負債		
長期借入金	7,819	7,860
引当金	49	58
その他	444	382
固定負債合計	8,313	8,300
負債合計	13,962	11,586

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,164	8,164
資本剰余金	7,848	7,848
利益剰余金	△7,415	△7,389
自己株式	△10	△9
株主資本合計	8,587	8,613
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△509	△494
評価・換算差額等合計	△509	△494
少数株主持分	412	368
純資産合計	8,490	8,487
負債純資産合計	22,453	20,073

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,673	3,300
売上原価	4,461	3,121
売上総利益	211	178
販売費及び一般管理費	145	146
営業利益	66	32
営業外収益		
受取利息	11	9
その他	0	0
営業外収益合計	12	10
営業外費用		
支払利息	6	5
貸倒引当金繰入額	66	—
貸倒損失	—	20
為替差損	78	7
その他	0	1
営業外費用合計	150	34
経常利益又は経常損失(△)	△72	7
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5	—
賞与引当金戻入額	—	2
その他	—	0
特別利益合計	5	2
特別損失		
固定資産売却損	0	—
減損損失	—	9
特別損失合計	0	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△67	0
法人税、住民税及び事業税	6	4
法人税等調整額	22	22
法人税等合計	28	27
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△26
少数株主損失(△)	△1	△0
四半期純損失(△)	△95	△25

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	電気機器等 製造販売事 業 (百万円)	物資等、医 薬品及び医 療器具等販 売事業 (百万円)	不動産開発 及び賃貸管 理等事業 (百万円)	有機食品 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,409	147	105	10	4,673	—	4,673
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	21	—	21	(21)	—
計	4,409	147	127	10	4,694	(21)	4,673
営業利益又は営業損失(△)	149	△47	16	△8	109	(43)	66

(注) 1 製品・商品の種類、販売方法等の共通性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

2 事業区分については、従来3区分としておりましたが、前第3四半期連結会計期間より有機食品事業を開始したことに伴い、当該事業を「有機食品事業」として区分表示しております。

3 各事業の主な製品

事業区分	主要製品
電気機器等製造販売事業	カラーTV、DVDプレーヤー、マルチメディアプレーヤー等
物資等、医薬品及び医療器具等販売事業	金属加工品、雑貨等、医薬品、ライセンス手数料等
不動産開発及び賃貸管理等事業	賃貸料、管理料等
有機食品事業	有機レモン果汁、有機オリーブオイル、有機ドレッシング等

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占めるアジア地域の割合が100%のため、所在地別セグメント情報については記載していません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

当社及び連結子会社の海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高については記載していません。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業統括部を置き、事業統括部は事業の種類別に取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

したがって、セグメントについては事業の種類別に構成されており、「電気機器等の製造販売」「物資等、医薬品及び医療器具等の販売」「不動産開発及び賃貸管理等」「有機食品」の4つを報告セグメントとしております。

各事業の主な内容は、「電気機器等の製造販売」は映像・音響機器を中心とした委託生産品の販売を行っており、「物資等、医薬品及び医療器具等の販売」は医薬品等の卸販売、物資等の仕入・販売及び金属加工の製造・販売を行っており、又、「不動産開発及び賃貸管理等」は主に不動産開発、賃貸及び管理を行っており、「有機食品」は有機（オーガニック）食品の仕入・製造販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	電気機器等の製造販売	物資等、医薬品及び医療器具等の販売	不動産開発及び賃貸管理等	有機食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,017	164	97	21	3,300	—	3,300
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	18	—	18	—	18
計	3,017	164	115	21	3,318	—	3,318
セグメント利益又は損失(△)	95	△0	21	△4	112	—	112

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	112
セグメント間取引消去	△0
のれんの償却額	△35
全社費用(注)	△43
四半期連結損益計算書の営業利益	32

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。